

令和3年11月 北秋田市長記者会見

令和3年11月26日（金）午前11時30分
市役所本庁舎 大会議室

1. 令和3年北秋田市議会12月定例会について・・・資料1
2. 「市長と語ろう！タウンミーティング」の開催について
3. 大館能代空港利用事業補助金、高速バス利用促進事業補助金について
4. 新型コロナウイルスワクチンの接種状況について
5. ユネスコ世界遺産登録認定証（複製）について

その他

- ・12月の行事予定

1. 令和3年北秋田市議会 12月定例会について

本日、令和3年北秋田市議会 12月定例会を12月7日に招集することといたしました。

今定例会には、「北秋田市ふるさと寄附金基金条例の制定について」をはじめとする条例案が4件、補正予算案関係が8件、「北秋田市クウインズ森吉の指定管理者の指定について」をはじめとする単行議案が5件の計17件の提案を行うこととしております。

概要につきましては、さきほど行われました議会運営委員会において総務部長から説明をさせておりますが、特に一般会計補正予算案について説明させていただきますと、既定の予算の総額に1億5,257万2千円を追加して、総額を245億2,701万3千円とするものであります。

一般会計補正予算案の主な歳出といたしましては、

○新型コロナウイルスワクチン接種事業における

現行予算で不足する必要経費 として

4, 8 2 2 千円

○企業誘致対策事業 として

1 1, 8 9 4 千円

○道路維持事業 として

5 0, 0 0 0 千円

○公立学校情報機器整備事業 として

3, 3 1 8 千円

を計上いたしております。

2. 「市長と語ろう！タウンミーティング」の開催について

令和3年度「市長と語ろう！タウンミーティング」について、12月12日（日曜日）、午後1時30分から、市民ふれあいプラザコムコムを会場に開催いたします。

今回のタウンミーティングは、「地域づくり・活性化に取り組むグループと語る北秋田市について」をテーマに、当市に長年暮らし地域の実情をよく知るグループの代表者の方々とのトークセッションとなります。

少子高齢化により人口減少が進む地域のなかで、特色ある地域づくりや、地域の活性化に意欲的に取り組むグループの代表者の方々とのトークセッションは、これからの地域づくりのアイデアやヒントが得られるものと期待しております。

事前申込は不要としておりますので、ぜひ多くの市民の皆さんにお越しいただき、共に語り合う機会にしたいと考えております。

市民の皆さんのご来場を心よりお待ちしております。

<参考>

日 程 : 令和3年12月12日（日）午後1時30分から3時30分
場 所 : 北秋田市民ふれあいプラザ（コムコム）1F 多目的ホール
テーマ : 「地域づくり・活性化に取り組むグループと語る北秋田市について」
トーク : 市内で主体的・意欲的に地域づくりや地域活性化に取り組む自治会などのグループ4団体の代表者4名
[4団体＝おさるべ元気くらぶ・荒瀬かだまり・羽根山自治会・新舟見町自治会]
参 加 : 不要
申込み : ※参加者が多数となった場合、入場制限を行う場合があります。

【お問い合わせ先】

総合政策課政策係
総合政策課政策係 電話：62-6606 Fax：63-2586 Mail：seisaku@city.kitaakita.akita.jp

3. 大館能代空港利用事業補助金、高速バス利用促進事業補助金について

大館能代空港発着の航空機、並びに、高速バス「ジュピター号」を利用された市民の皆さんへの運賃助成を12月1日利用分から実施いたします。

空港利用助成は、片道当たり5,000円、往復利用ですと10,000円の助成となります。

ご利用後に、市役所本庁舎、各窓口センター、各出張所へ申請してください。昨年同様、口座への振り込みとなります。

高速バス利用助成は、片道当たり3,000円、往復6,000円の助成となります。

こちらは、秋北バス(株)米内沢営業所、鷹巣いとくショッピングセンター内にあります秋北航空サービス(株)能代鷹巣営業所で購入されたチケットが対象となり、購入時に助成額を割り引いた価格でお買い求めいただけます。

これまでのコロナ禍による移動等の自粛要請により、交通事業者は極めて厳しい経営環境におかれております。この機会にぜひ、多くの皆さんに飛行機や高速バスをご利用いただきたいと思います。

<参考>

【事業概要】

1. 大館能代空港利用促進事業補助金

- ◆助成金額 片道5,000円 往復10,000円
- ◆助成対象期間 令和3年12月1日から令和4年3月31日まで
- ◆予算額 38,500千円(片道@5,000円×700件×11か月)
※平成30年利用実績(月平均)738件

2. 高速バス利用促進事業補助金

- ◆助成金額 片道3,000円 往復6,000円
- ◆助成対象期間 令和3年12月1日から令和4年2月28日まで
(※11月15日前売り分から対象)
- ◆予算額 4,206千円(@3,000円×1402人)
※年間利用状況から算出した11か月あたりの市内利用者数

4. 新型コロナウイルスワクチンの接種状況について

集団接種につきましては、医療関係者や市民ボランティアの方々から多くのご協力をいただきまして、事故などもなく 11 月 20 日に保健センターを会場に実施した追加接種をもちまして、全日程を終了いたしました。この場をお借りして、ご協力いただきました全ての皆さんに改めて御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

個別接種につきましては、引き続き、市内医療機関で実施してまいります。

11 月 23 日現在の接種状況につきましては、12 歳以上の全予防接種対象者の 90%を超える方々が 2 回の接種を終了しており、希望されたほとんどの皆さんが接種を済まされたものと考えております。

3 回目のワクチン接種時期につきましては、医療従事者は 12 月上旬、一般市民の皆さんは 2 月上旬からを予定しております。

対象者へのご案内につきましては、2 回目接種から原則 8 ヶ月以上を経過した方から順次、接種可能日の 2 週間前を目途に、クーポン券と接種案内を発送いたします。

3 月までの冬季に行う集団接種につきましては、移動のご負担などを考慮し、交流センター、合川・森吉・阿仁庁舎の 4 つの会場で実施し、それぞれの会場までの移動についてもバス送迎を準備し対応することとしております。

また、先般、国から示されました 5 歳から 11 歳の接種につきましては、医師団と協議しながら実施体制の整備を進めてまいりたいと考えております。

今後は季節性インフルエンザの流行も懸念されることから、市民の皆さんには、引き続き、基本的な感染予防対策の徹底について、ご理解とご協力をお願いいたします。

5. ユネスコ世界遺産登録認定証（複製）について

11月22日に文化庁主催の「北海道・北東北の縄文遺跡群 世界遺産登録記念式典」がオンライン形式で行われ、4道県14市町の首長が一堂に介し、それぞれご挨拶いたしました。

都倉(とくら)文化庁長官からは、縄文遺跡群について、今後の保存・活用に期待する旨のお言葉をいただいたところです。

その記念式典の中で、ユネスコから文化庁へ「世界遺産登録認定証」が届いたことが報告され、認定証は文化庁で複製し、各自治体で活用することになりました。今日はここに認定証のレプリカが届いております。

・・・レプリカ掲げる（総務係長）・・・

今後は皆さんにご覧いただけるように、伊勢堂岱縄文館に掲示したいと思っております。

7月の登録から4ヶ月が経とうとしていますが、想定を超える多くの方々に伊勢堂岱遺跡を見学いただき、大変うれしく思っております。

現在、伊勢堂岱遺跡については、冬季により公開を休止しておりますが、縄文館は開館しておりますので、届きました認定証のレプリカが、皆さんに来館いただくきっかけの一つとなりますことを期待しているところです。

令和3年11月 市長記者会見質疑応答

2021.11.26 午前11時30分 本庁舎大会議室

マスコミ各社、広報係

市長、副市長、総務部長、財務部長、総務課長、生涯学習課長、健康推進係長

総務係 松尾、堀内

Q) 魁) 国の新型コロナウイルス経済対策 18歳以下給付について、横手市では、対象から外れる子育て世帯向けに独自給付を実施する方針だが、北秋田市ではどうか。

A) 市長) (独自給付は) 考えていない。今後、(地域のニーズに合わせ) 様々な対策を(適時) 行いたい。